

キラトウーリマキ風力発電所の運営状況と今後の方向性について

キラトウーリマキ風力発電所は、機器の故障等により現在2機のうち1機(2号機)が運転停止中であり、本年度の特別会計において収支不足となる可能性が生じています。

については、この状況を報告するとともに、風車の存続に向け、今後民間譲渡を前提にした提案事業者の公募の手続きを進めてまいります。

1 発電所の運営状況について

(1) 運転状況

- 平成15年(2003)2月に運転開始し、本年(2020)2月には法定耐用年数(17年)を迎える中、機器の故障等に伴う稼働停止日数が増加し、近年稼働率は50~60%台に低下している。
- 特に2号機は、平成30年(2018)11月の運転停止後、令和元年(2019)8月の機器交換により一旦運転再開したものの、8日後に別の箇所である中国電力との連系設備に発生した漏電により再度運転停止し、ここ1年以上にわたりほぼ運転停止状態となっている。<別添イラスト図参照>
- 2号機の運転再開のためには、連系設備の不具合(絶縁抵抗値低下)箇所の交換が必要であり、1千万円超の経費(業者見積)が見込まれる。なお、交換しても完全復旧が保証されるものではない。

【H27(2015)~R1(2019) 売電収入及び稼働停止日数実績】

	H27		稼働停止日数		H28		稼働停止日数		H29		稼働停止日数		H30		稼働停止日数		R1		稼働停止日数		単位:円	
	売電収入	1号機	2号機	売電収入	1号機	2号機	売電収入	1号機	2号機	売電収入	1号機	2号機	売電収入	1号機	2号機	売電収入	1号機	2号機	稼働停止日数	1号機	2号機	
4月分	4,344,634	2	18	1,940,757	31	0	2,427,769	3	31	5,170,072	3	3	1,347,131	9	31							
5月分	2,608,255	8	9	1,628,921	30	4	824,258	0	30	3,942,786	1	4	1,127,160	1	30							
6月分	938,879	31	2	817,937	31	2	987,087	0	20	2,328,150	3	7	836,900	0	31							
7月分	997,243	21	4	1,450,458	30	0	899,099	18	13	1,284,932	6	9	94,056	24	30							
8月分	2,749,635	0	0	1,601,320	16	10	3,148,869	6	0	673,565	11	6	0	31	31							
9月分	802,767	0	0	2,370,164	0	1	1,824,493	1	1	1,716,277	0	8	402,521	27	24							
10月分	1,769,247	0	0	339,648	17	14	1,369,381	0	0	1,425,006	5	7	454,606	3	30							
11月分	2,591,188	19	0	1,040,858	8	8	1,787,578	4	4	1,250,546	1	0	341,986	0	31							
12月分	1,430,442	30	9	2,377,033	12	10	6,242,619	0	0	131,476	23	27	904,410	0	30							
1月分	2,559,372	31	4	2,556,212	0	31	9,020,825	0	10	0	31	31	1,622,376	10	31							
2月分	2,895,228	31	5	3,189,829	0	31	4,497,517	3	31	0	31	31										
3月分	3,159,235	29	0	3,721,299	0	28	6,375,613	0	2	724,639	8	28										
合計	26,846,125	202	51	23,034,436	175	139	39,405,108	35	142	18,647,449	123	161	7,131,146	105	299							
稼働日数	479	164	315	416	190	226	553	330	223	446	242	204	208	201	7							
	732	366	366	730	365	365	730	365	365	730	365	365	612	306	306							
稼働率	65.4%	44.8%	86.1%	57.0%	52.1%	61.9%	75.8%	90.4%	61.1%	61.1%	66.3%	55.9%	34.0%	65.7%	2.3%							

※点線枠囲いは、長期停止(月15日以上)の期間を表したものの。

⇒2号機は運転停止中で、1号機のみ稼働している状況。

(2) 令和元年度の収支状況

- ▶ 前述のとおり、年度当初から2号機が運転停止しており、売電収入が激減。
 - ▶ 2号機の運転再開に向け、不具合箇所の交換を行う場合、基金残高(約500万円)の全額を繰り入れても、特別会計において1千万円超の収支不足となる見込み。
 - ▶ また、2号機を修繕しない場合でも、現時点では金額は不確定であるものの、特別会計において収支不足となる可能性が生じている。
- ⇒ 今月の運転状況をみて、3月補正予算を検討予定。

2 発電所の今後の方向性について

(1) 基本的方向性

- ▶ 前述のとおり、現状では市が発電所運営を継続することは厳しい見通しとなる中、再生可能エネルギー施策の推進や多伎地域のシンボルとしての風車の継続を図るため、民間譲渡に向けた検討を行う。
- ▶ なお、2機とも運転停止状態で風車を存続させる場合は、最低でも年間約600万円の維持管理経費が、風車を解体撤去する場合には、1億円以上の経費が見込まれる。

(2) 譲渡手続き

- ▶ 2段階公募型プロポーザル方式で譲渡事業者を決定する予定。
- ▶ 具体的には、民間事業者の売電収益性を考慮し、令和2年度中の固定価格買取制度(FIT)の認定取得を目指し、本年度内に第1段階の参加表明事業者の公募をかける。
- ▶ その後、事業者側での事業性検討期間を1年近く設け、その結果に基づき第2段階の提案書提出を受け、市で最終的な譲渡事業者を決定する。
- ▶ なお、民間譲渡の条件など公募の詳細や、参加表明事業者がいなかった場合の対応については、今後改めて検討する。

(3) 民間譲渡に向けた今後の予定

令和元年度	1月17日 議会全員協議会での本件報告 3月頃 第1段階プロポーザル〔事業者からの参加表明の公募〕
令和2年度	4月頃 提案検討事業者の確定 今後の事業性検討過程等に関する事業者との確認 1~3月頃 第2段階プロポーザル〔事業提案書の提出・審査〕 譲渡事業者の決定
令和3年度	年度月上旬 譲渡契約の締結 ⇒ 民間譲渡

《停止の原因である不具合箇所（風力発電所イラスト図）》

